

（2）今後の小牧市の行政改革のあり方（案）

① 行政改革の「対象」と期待される「役割」・「機能」について

- 本市における行政改革の「対象」と、行政改革に期待される「役割」・「機能」に関し、以下の事項を明確にする必要がある。

i) 行政改革の対象

- ◆ 行政改革の対象：行政経営？ 地域経営？ 両者を含めた自治体経営？これら以外の何か？

【定義】

○経営とは

- ・ 事業活動に必要な経営資源（ヒト、モノ、カネ）を確保し、社会に有益な商品・サービスを持続的に提供し続けること。
- ・ あるいは、そのためのPDCAサイクルなどのマネジメントの仕組みや取組のこと。

○行政経営とは？

○地域経営とは？

○自治体経営とは？

ii) 行政改革の目的・役割・機能

- ◆ 以下の3つの関係は？それぞれは、どのような位置づけで何を目指しているのか（目的・役割・機能など）

○行政改革：目的・役割・機能は？

○行政経営・地域経営・自治体経営：目的・役割・機能は？

○総合計画などに基づく政策・施策・事業目的・役割・機能は？

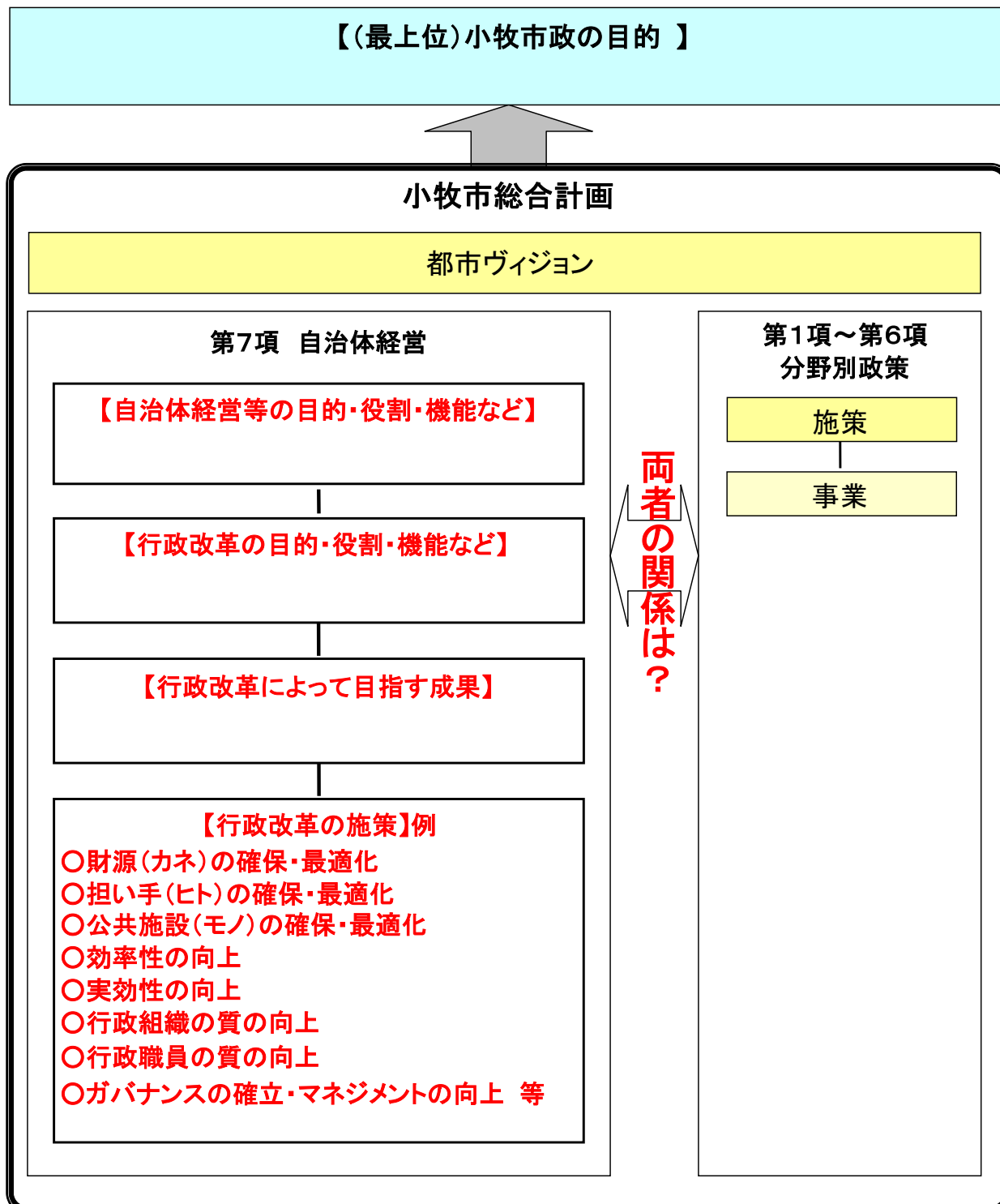
iii) 行政改革を定期的に見直す理由・見直しの視点

- ◆ 行政改革を定期的に見直す理由は？
- ◆ 見直しに当たって重要な視点は？

② 小牧市の行政改革の骨子について

- 次期基本計画における行政改革の骨子は、どのような構成・内容か？

図表 前回委員等の発言に基づく次期基本計画「自治体経営」骨子（イメージ）



③ 行政改革におけるPDCAサイクルについて

- 市が実施する行政サービス・行政活動は、総合計画として政策・施策・事務事業に体系化されている。また、事務事業としての行政サービス・行政活動は、一連の業務の流れで実施される(業務プロセス)。
- 市のPDCAサイクルは、時間軸と対象の違いにより、以下のとおり分類できるのではないか。

○大きなPDCAサイクル

- ◆ ガバナンス改革(自治体経営システム、内部統制)、検討対象外: マニフェスト、等
- ◆ 行政経営部門や市政戦略部門等が事務局となり検討
- ◆ 数年~10年に一度の検討

○小さなPDCAサイクル

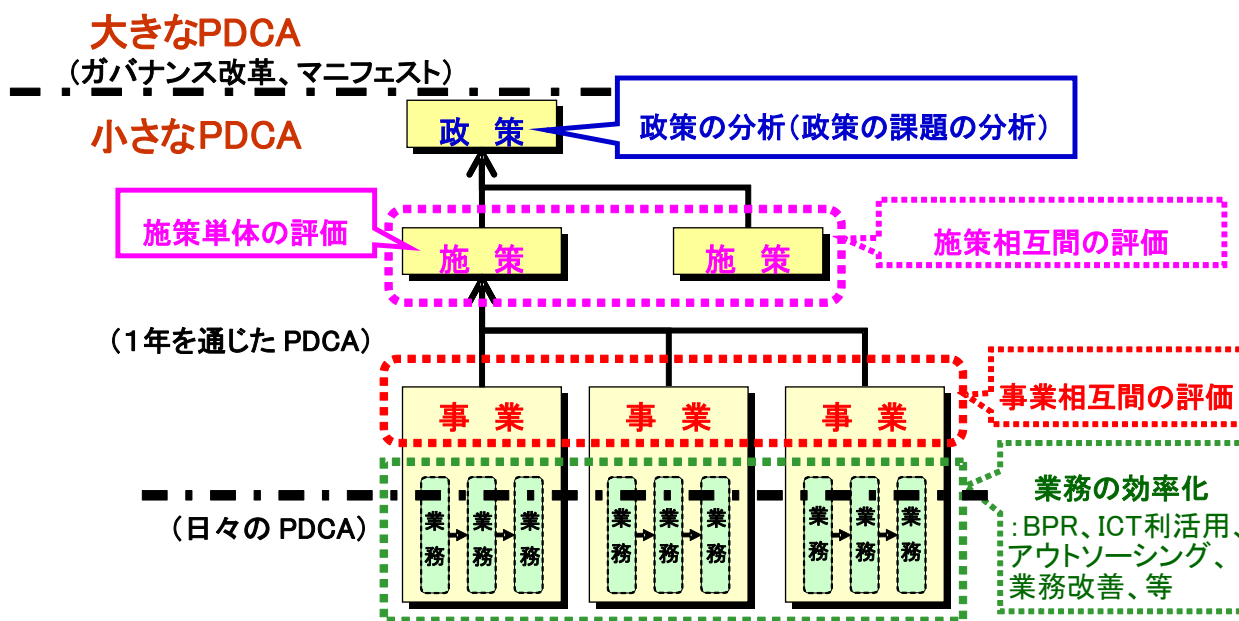
(1年を通じたPDCAサイクル)

- ◆ 全庁で推進する行政改革
- ◆ 施策評価や事務事業評価に基づく改善(選択と集中、事務事業の費用対効果の向上、など)
- ◆ 行政経営部門や市政戦略部門が事務局となり、全庁全所属で実施
- ◆ 年に一度のサイクルが基本

(日々のPDCAサイクル)

- ◆ 個々の事務事業や業務プロセスを対象に、業務の効率化を推進
- ◆ 各所属で実施
- ◆ 日々の業務の中で実施
- ◆ 問題点: 各所属で業務効率化のノウハウを有していない

図表 行政サービス・行政活動の体系とPDCAサイクル



以上